

越前市議会だより

題字は、武生商工高校 書道部 3年生 桂川姫奈さんの書道作品です。

第78号

令和6年(2024年)11月15日(金)
発行 編集 越前市議会
〒915-8530
福井県越前市府中一丁目13番7号
TEL:0778-22-3426
FAX:0778-23-3000
<http://www.city.echizen.lg.jp/shigikai/index.html>



次年度予算編成に向け市長に提言

決算審査と予算審査の連動(政策サイクル)

9月定例会の決算特別委員会において、令和5年度の決算審査および議員間協議を行い、次年度予算編成に向け、2つの提言を行いました。
(関連記事6面)



10/17 議長から市長へ提言書を提出

令和6年度 政策サイクル提言の概要

自主防災組織育成支援事業について

① 共助による防災体制を推進していく観点から、各地区における「地区防災計画」の作成に際しては、市は支援を行うこと。

② 「避難場所開設・運営マニュアル」に基づき避難所の運営を段階的に委ねるとしているが、地域や町内会で浸透させ、機能させること。

スポーツ協会運営支援事業について

① 市スポーツ協会の提案を尊重しながら、市と市スポーツ協会との協働により、新しいスポーツ



10/8 決算特別委員会 提言案についての協議

の振興事業を計画し、事業実施にあたっては、市は、補助金・委託料等を含めた適切な支援のあり方を検討すること。
② 市と市スポーツ協会は、十分な意思疎通を行い、役割分担を精査し、さらなるスポーツ振興を進めること。

自動運転EVバスに試乗

自動運転実証事業

全国的課題である公共交通を支える運転手不足への対策として、自動運転電気バスの実証実験が越前市内で行われました。

この実証実験は、ハピラインふくい武生駅と総社大神宮を巡回するもので、10月21日から26日までの6日間、実施されました。10月21日に行われた乗車体験会では、議員も試乗し、最高速度18キロの自動運転を体感しました。

本年度は、自動運転のレベル2で、側道に自動車が駐車している場合など必要に応じて手動操作を行うものです。運転手不足が懸念される中、交通手段の確保は大変重要なことであり、新しい技術の進展が今後も期待されます。



自動運転EVバス
アルマ
ARMA

9月定例会の概要

令和6年9月越前市議会定例会は、9月3日から10月17日までの45日間にわたって開かれました。

この定例会では、一般会計補正予算案2件、越前市個人番号の利用に関する条例の一部改正など条例案3件、越前三国競艇企業団規約の一部変更についてなど一般議案3件が提出され、本会議における質疑、各常任委員会での審査を経て、いずれも原案どおり可決しました。さらに、令和5年度各会計決算認定案7件については、決算特別委員会を設置し審査を重ね、認定・可決しました。

また、「訪問介護の基本報酬の引き下げ撤回と介護報酬の引き上げの再改定を早急に行う意見書の提出を求める請願」を不採択、「化学物質過敏症に関する請願」を採択しました。

このほか、教育委員会委員、公平委員会委員に関する人事案2件に同意しました。

本号の主な内容

- 2面 ◆ 議案質疑
- 3面 ◆ 議決結果など
- 4～5面 ◆ 一般質問
- 6面 ◆ 政策サイクルなど
- 7面 ◆ 団体との市民と議会との語る会など
- 8面 ◆ 揮毫メッセージなど

9月補正予算

一般会計 7億1,112万7千円の補正予算

- ・紫式部プロジェクト事業
- ・地域交通対策事業
- ・児童相談事業
- ・給食費高騰対策特別支援事業
- ・道路施設災害復旧事業 ほか



9月定例会 議案審議

その他の審議については、1月に議会ホームページで掲載予定の会議録をご覧ください。

越前市会議録検索システム [検索](#)

補正予算審議

■紫式部プロジェクト事業

4300万円

問 9月補正となった理由は。

答 この秋に最高潮を迎える大河ドラマや北陸デスティネーションキャンペーンで注目が集まる好機を逃さず、「紫式部の旅」に活用するため、補正予算を計上した。

問 大河ドラマ館の入場者が少ない原因は。

答 当初の入場者数は25万人と高い目標を設定しており、現時点(9月1日現在)では約9万人である。県外からの入場者が7割を占め、県内からの入場者が想定より伸び悩んでいる。菊人形との連携による宣伝活動、OSKセット券の販売、団体旅行への営業強化等により、入場者数が増加するよう努める。



大河ドラマ館内の大型グラフィック展示



菊人形屋外展示

常任委員会

委員長報告

総務委員会

自家用有償旅客運送事業への支援を

問 白山地区での自家用有償旅客運送事業を継続していくための運転手確保、地元が課題としている高校生の通学利用等、今後詳細を決定していくうえで行政のかかわり方は。

答 既に実施している坂口地区での自家用有償旅客運送事業についても、毎月、情報共有や課題解決の打合せを行っていることから、同様に、白山地区においても、毎月、協議の場を持ち、事業を支援していく。

他の報告事項

- ・紫式部プロジェクト事業

教育厚生委員会

困りごとを抱える家庭への専門的な支援を

問 子どもの居場所づくりの拠点となる野尻医院での改修内容は。

答 医院の2階に、こどもの居場所をつくる。具体的には、キッチンや相談室を新設し、空調や内装の工事を行う。

問 野尻医院を改修とした経緯は。

答 こども分野の官民研究会において、市社会福祉協議会、野尻医院、社会的養育総合支援センター「一陽」の三者からなるコンソーシアムから、より踏み込んだ専門的な支援について提案されたことがきっかけである。

問 今後、支援を行いたいと手を挙げる方が出てきた場合、コンソーシアムに参加できるのか。

答 コンソーシアムは固定メンバーではなく、必要に応じて、それぞれの事業に参加していただきたいと考えている。



子どもたちへ安全安心で豊かな給食を

問 給食費補助率14%の根拠は。

答 生鮮食品に係る福井市の消費者物価指数の上昇率と、別途通知された主食と牛乳の値上がり分を考慮して、決定した。

問 給食費補助率が、昨年度の15%から、今回は14%に低下している理由は。

答 昨年度は、県が設定した補助率の上限に市が合わせたが、今回は、実績値の13%と直近の値上がり分を考慮し、14%とした。



他の報告事項

- ・国民健康保険の保険証廃止に伴う特別療養費制度の運用について

産業建設委員会

山林でのドローンの使用には注意を

問 鳥獣害防止対策として、山林でのドローン使用は障害物が多く、破損する可能性があるが、メンテナンス等に関する考えは。

答 従事する職員のけが等への補償や、第三者への賠償については、市が加入している保険などで対応し、メンテナンスについては、状況を見て、新年度予算への計上を考えている。



山林を飛ぶドローン

災害対応の強化に努めよ

問 村国山市道での災害の原因と今後の防止策は。

答 大雨で崩れた箇所からは相当量の湧水があり、これが土砂災害の一因になったものと考えられる。今後の対策として、復旧工事において湧水対策、排水処理を実施し、降雨時にはパトロールを強化していく。

議 案 の 議 決 結 果

令和6年9月越前市議会定例会に提出された議案と議決結果は次のとおりです。

議 案	件 名	付託委員会	議決結果
議案第42号	令和 6 年度越前市一般会計補正予算（第 4 号）	総務 教育厚生 産業建設	可決（全員）
議案第43号	令和 5 年度越前市水道事業会計利益の処分及び決算の認定について	決算特別	可決及び認定（全員）
議案第44号	令和 5 年度越前市工業用水道事業会計利益の処分及び決算の認定について	決算特別	可決及び認定（全員）
議案第45号	令和 5 年度越前市下水道事業会計利益の処分及び決算の認定について	決算特別	可決及び認定（全員）
議案第46号	令和 5 年度越前市一般会計歳入歳出決算の認定について	決算特別	認定（全員）
議案第47号	令和 5 年度越前市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	決算特別	認定（全員）
議案第48号	令和 5 年度越前市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	決算特別	認定（全員）
議案第49号	令和 5 年度越前市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	決算特別	認定（全員）
議案第50号	越前市個人番号の利用に関する条例の一部改正について	総務	可決（全員）
議案第51号	越前市国民健康保険条例の一部改正について	教育厚生	可決（全員）
議案第52号	越前市ひとり親家庭等医療費の助成に関する条例の一部改正について	教育厚生	可決（全員）
議案第53号	越前三国競艇企業団規約の一部変更について	総務	可決（全員）
議案第54号	市道路線の認定について	産業建設	可決（全員）
議案第55号	財産の取得について	産業建設	可決（全員）
議案第56号	令和 6 年度越前市一般会計補正予算（第 5 号）	総務	可決（全員）
議案第57号	教育委員会委員の任命につき同意を求めることについ て		同意（全員）
議案第58号	公平委員会委員の選任につき同意を求めることについ て		同意（全員）
請願第 2 号	訪問介護の基本報酬の引き下げ撤回と介護報酬の引き上げの再改定を早急に行う意見書の提出を求める請願	教育厚生	不採択（賛成少数）
請願第 3 号	化学物質過敏症に関する請願	教育厚生	採択（賛成総数）

賛 否 の 公 表

賛成・反対の双方があった議案などについて表示します。（賛成：○ 反対：× 欠席：欠）

議 案		会 派 名 義		賛 否																			
				市民ネットワーク				会派 郷働			誠和会		会派 創至		一志会		地域共生		会派 未来		諸	諸	諸
				土田 信義	砂田 竜一	吉田 啓三	大久保恵子	小玉 俊一	川崎 悟司	城戸 茂夫	川崎 俊之	大久保健一	能勢淳一郎	小形 善信	佐々木哲夫	清水 一徳	近藤 光広	橋本弥登志	題佛 臣一	安立 里美	畑 勝浩	桶谷 耕一	前田 修治
請願第2号	訪問介護の基本報酬の引き下げ撤回と介護報酬の引き上げの再改定を早急に行う意見書の提出を求める請願	○	×	○	○	○	×	×	○	議長	×	×	×	×	×	○	×	×	○	×	○		

（注）議長は採決には加わっていません。 諸：諸派

議会活性化
特別委員会報告

まず、これまでの委員会の取り組みを振り返り、「市議会基本条例」の見直しなど、一定の成果を上げてきたことを確認しました。今後の取り組みとして、議会機能継続計画（議会BCP）の策定をはじめ、議会活動の見える化の取り組みとして、議会だよりや、市議会ホームページの充実など早期に取り組む事項を確認しました。

また、将来の議員のなり手に繋げる青壮年議会や子ども議会について、先進的な市議会の取り組みを研究していくことも、確認しました。

公共交通対策
特別委員会報告

まず、これまでの委員会の取り組みを振り返り、デマンド交通および自家用有償旅客運送について、先進自治体への視察や、運営主体である事務局との意見交換、市内での現地視察等を行い、調査、研究を深めてきたことを確認しました。

公共交通に係る課題については、北陸新幹線越前たけふ駅の利用促進に関することや、二次交通の確保、ハピラインふくい、福井鉄道福武線、路線バスなどへの支援、丹南地域の広域交通など調査研究の対象は広範囲にわたります。まずは、高齢者など移動制約者の交通手段に加え、ライドシェアについて、優先的に取り組むこととし、その他の課題についても、その都度、委員会で協議しながら調査、研究することとします。

9月定例会で採決された人事

教育委員会委員の任命に同意

坂 多佳子 氏（芝原一丁目）

公平委員会委員の選任に同意

寺田昇 氏（桂町）

年賀状等
あいさつ状の
禁止について

公職選挙法により、議員が選挙区内に対し、年賀状などのあいさつ状を出すことは禁止されております。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

9月定例会
一般質問

9月定例会では、17人の議員が9月10日、11日、12日の3日間、一般質問を行いました。多くの質問項目の中から1人1項目を選び、ジャンルごとに質問・答弁を要約して掲載しました。なお、詳しくは市議会ホームページをご覧ください。
顔写真横の二次元コードを読み取ると、録画映像をご覧ください。

環境

ゼロカーボンシティ推進に伴う現状と今後について

問 東京都は、住宅を含む中小規模の新築建物に対し、太陽光発電設備の設置などを義務付けると聞いている。本市の2050年カーボンニュートラルに向けた市長の思いは。

答 東京都と違い、地形や積雪の影響が大きいことから、一律の義務付けは難しいと考えている。今回採択を受けた国の補助事業を活用し、規模感とスピード感をもって進める。併せて市民の日常的な、地道な取り組みも進める。特に、「チャレンジ30」ではゴミ減量化を市民総ぐるみで取り組む。

他の質問項目

・マイナンバー保険証について
・公共施設の管理について



会派
小玉 俊一
こたま しのぶ



越前たけふ駅

越前たけふ駅東P&R駐車場の混雑について

問 駅東駐車場は新幹線などの利用者以外で停めている人が多く、実際に使いたい人が使えない状況にあり、残念である。駐車場内に利用者の区域を設けるなど、利用規則を作ることはできないか。

答 5月15日から21日に実施した利用者アンケート調査では、約1200人の回答を得て、新幹線・高速バス以外の利用は、全体の約6%であった。おおむね新幹線や高速バス利用者が駐車場を利用している状況である。

他の質問項目

・自動運転のレベルを問わない通年運行の可能性について
・越前たけふ駅周辺の整備について



市民ネットワーク
吉田 啓三
よしだ けいぞう



北陸新幹線越前たけふ駅周辺整備について

問 駅周辺でのアーバンスポーツ施設整備計画の方針は。

答 駅周辺でのアーバンスポーツ施設の整備は、市総合計画、「越前たけふ未来創造基地(仮称)」の基本構想、本年3月に改定された市スポーツ推進プランに位置付けられており、必要な機能として、整備に向けて取り組んでいきたい。また、整備手法については、民間投資を呼び出すような枠組みによって誘致を行っていきたい。

他の質問項目

・しきぶ温泉湯楽里の今後の在り方について
・学校給食への公費負担について



誠和会
川崎 俊之
かわさき としゆき



回復期病院誘致による新幹線駅周辺開発

問 全国で人口減が進んでおり、特に地方では、建物や事業などを集約しないと存続が難しくなってくる時代である。高速道路と新幹線の交通結節点という利便性を生かし、北陸新幹線沿線全地域を対象として、駅東側に駅ホーム直結の全年代向けリハビリ病院および関連公共施設を誘致してはどうか。

答 リハビリなど回復期の必要病床は今後も増える見込みであるが、病床の不足は、病床転換などで整備する予定である。

他の質問項目

・契約における反社会的勢力関与の事前調査について
・吉野地区の新公立認定こども園建設における周辺開発計画について



諸派
畑 勝浩
はた かつひろ



観光

観光産業拡大プロジェクトについて

問 源氏物語の執筆に必要な墨、硯、筆、越前和紙を生かした戦略が持てないか。

答 本市は、書道が盛んな地域であるので、書に焦点を当てた取り組みを展開する。2026年には、書道がユネスコ無形文化遺産登録が審議される見込みとなっており、書道文化の機運が高まることが期待されている。源氏物語が越前和紙から生まれたというストーリーをより輝かせ、本市の伝統文化や歴史的価値を国内外に発信していく。

他の質問項目

・町内会の自治の尊重と行政協力依頼業務の見直しについて



市民ネットワーク
土田 信義
つちだ のぶよし



施設管理

指定管理者制度について

問 スポーツ施設の管理運営において、指定管理者制度のメリットを生かすために、指定管理者にはどのようなことを求めているか。

答 スポーツ施設の指定管理者には、利用者の声を反映しながら市民がより身近で気軽にスポーツができるよう、自主事業の実施を求めている。また、施設の利便性向上や、利用者増に向けた会議を四半期ごとに開催し、施設が市民の健康増進や活躍の舞台になるよう協議している。

公の施設の管理について

問 武生中央公園、東運動公園の電気契約と利用実態は。また、八ツ杉森林学習センター、みどり自然の村での利用実態は。

答 各施設とも使用実態に見合う適切な契約となっている。しかし、一部照明設備については、利用が減っていることもあり、今後のあり方を競技団体と協議していく。
八ツ杉森林学習センター、みどり自然の村については、自然志向など利用者意識の変化もあるため、それに対応するための努力をしていく。

他の質問項目

・総合的な福祉サービスについて



地域共生
橋本弥登志
はしもと やとし



大河ドラマの経済効果と終了後の取り組みは

問 大河ドラマの放映により、全国へ越前市関連の発信がされた。そのことによる経済効果はどうか。また、大河ドラマ放映終了後の取り組みは。

答 越前の認知度が高まったことで、観光消費額は約15億円の試算、広告換算値は25億円の効果が表れている。今後は、紫式部が暮らした越前国府と、源氏物語が越前和紙から生まれたというストーリーをより輝かせ、本市の伝統文化や歴史的価値を国内外に発信する。

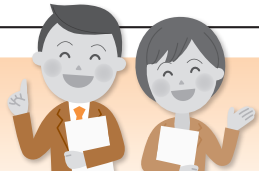
他の質問項目

・市文化財の保存と活用について
・少子化対策として若者を対象のイベント開催を



会派
安立 里美
あんりつ さとみ





※一般質問

議員が行政全般にわたり、市長等の理事者に対し、事務の執行状況や将来の方針等について説明を求め、疑問点をただすために行う質問のことをいいます。

青少年

住民自治

福祉

介護報酬改定に伴う訪問介護のあり方について

6年ぶりに診療報酬、介護報酬、障がい福祉サービスの報酬改定が行われた。1.59%基本報酬を引き下げられた訪問介護について、ヘルパーの労働環境の改善策は。

国では、10月に介護サービス事業所を対象に「介護事業実態調査」を実施し、介護従事者の処遇状況を調査した。また、地域住民主体で、高齢者のゴミ出し支援等の生活支援を行っており、地域から広がることで、訪問介護員の労働環境改善に繋がると考えている。

他の質問項目

- ・障がい者就労支援事業所等の事業支援について
- ・行政手続きの適正化について

医療費一部負担金の減額や免除について

諸物価高騰のもと、生活困窮などで医療費一部負担金が払えない場合に、国民健康保険では減額や免除制度があるが、市の制度の現状はどうか。制度の存在を広く市民に周知していく必要がある。

市の国民健康保険施行規則で一部負担金の減額や免除について規定しており、外来・入院を問わず対象となる。制度を知らないために治療が遅れたり、できなくなったりしないようホームページや広報で周知する。

他の質問項目

- ・現行保険証の廃止からマイナ保険証への移行について
- ・子どもの国民健康保険税均等割の軽減について

町内会への未加入問題について

町内会への加入は任意か。また、原則、全戸加入か。行政には、もっと自分事として町内会加入の促進を強く勧めてもらいたいと思うがどうか。

町内会への加入は、法的に任意であるため、加入の強制はできない。市民自治の基本であり、日ごろから顔の見える関係を築くことで、災害時の安否確認や支え合いなどの関係に繋がるため、全ての世帯の町内会への加入を推進している。

他の質問項目

- ・紫式部プロジェクトの中間報告について

刑法犯少年の現状と支援について

本市においても14歳から20歳までの少年の検挙・補導が増えている現状をどのように捉えているのか。また再犯防止を含めた本市の考えは。

青少年の集団による犯罪が社会問題になるなど、SNS関連の犯罪を未然に防止することも課題となっている。この厳しい状況に強い危機感を持っており、越前警察署や小中高校など、関係機関・団体が互いに協力して犯罪防止に取り組んでいる。また、非行をした人の自立や立ち直りのためには、それぞれの状況に応じた就労支援や住宅支援、適切な福祉サービスの提供が必要と考えている。

他の質問項目

- ・市再犯防止計画の進捗状況について
- ・ギャンブル依存症とアルコール依存症の支援について

諸派(公明党)

桶谷 耕一



諸派(日本共産党)

前田 修治



会派

能勢淳一郎



会派

題佛 臣一



農 林 業

農地と山の保全を集落から考える

厳しい農地と山を守るためにも、改めて、集落や地域を基盤とした営農や、集落における林業の考え方や取り組みが重要と考えるが、市長の考えは。集落の高齢化や少子化は、集落営農にも反映され、継続性が危ぶまれている。集落外からの人材確保も視野に、県とJAと共に、協議組織を形成し、取り組みを強化している。

加えて、林業面では、山の荒廃や土砂災害、鳥獣被害など、私たちの生活に直接的な脅威をもたらしている。山を守ることは、私たちの住む地域を守るために不可欠であり、地域全体が協力し、少しづつ前進するために、山を維持する地域活動を支援していく。

他の質問項目

- ・公民館と自治振興会の在り方について

10月からの各種ハラスメントの相談窓口設置について

昨年度のパワーハラスメント事案の発生を受けて、10月から設置される外部相談窓口の設置の内容は。

職員が心身ともに健康な状態で働くことは当然である。全庁的にハラスメント防止に努め、日常的な対話が大切である。10月からは臨床心理士1名を配置し、面談日を月数回予定しており、勤務時間内での相談を認めるものである。業務量や人間関係など区別なく相談を受け、内容によっては本人了解のもと、人事・法制課と情報共有を行い、風通しの良い職場づくりに努める。

職場環境

LGBTQ

ファミリーシップ制度の導入について

本市は令和4年10月に県内初の「パートナーシップ宣誓制度」を導入したが、他方では、その拡充策として、「ファミリーシップ宣誓制度」を導入する自治体が増えている。本市も早期に導入するよう求める。

制度導入については、既に実施している自治体の取り組みやその効果などを調査するとともに、関係団体等からの意見も聞きながら、研究していく。

他の質問項目

- ・長期休暇期間での子どもたちへの補助について
- ・带状疱疹ワクチン接種への補助について

決算を踏まえた財政状況について

議員報酬は普通交付税上、いくらかで措置されているのか。また、議会費全体として普通交付税の範囲内なのか。

普通交付税により措置されている議員報酬は、総務省の資料によると、令和6年度算定では、議長・副議長・議員とも月額32万9千円である。議会費は、普通交付税上、包括算定経費(人口)で算定されており、本市では1億4800万円である。令和6年度当初予算における議会費の一般財源は2億4400万円であることから、普通交付税で措置されている額より9600万円多い状況にある。

他の質問項目

- ・自治振興事業について

一志会

佐々木哲夫



会派 郷働

川崎 悟司



市民ネットワーク

大久保恵子



会派 郷働

城戸 茂夫



GIGAスクール構想

小中学校タブレット端末の更新について

問 小中学校のタブレット端末について、今後の更新計画と通信環境向上についての考えは。

答 令和6年度に小学校1、2年生分、13000台の更新を実施する。来年度以降に更新する他のタブレット端末については、国の補助基準額を目安に、県内市町での共同調達による協議を進めている。また、通信環境の安定については学習環境をより良くするため、改善に取り組みたい。

他の質問項目

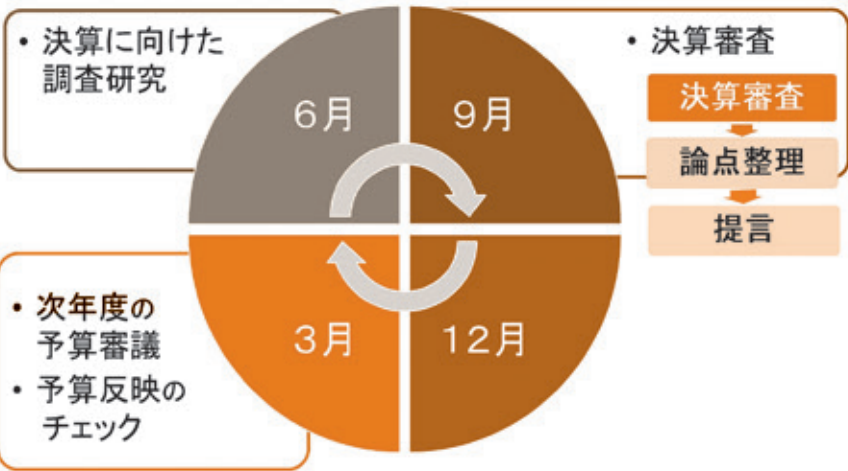
・通学区域の見直しについて

市民ネットワーク
すなだ じゅいち
砂田 竜一



政策サイクル

決算を次の予算につなげよう



決算は1年間行政が取り組んだ成果を総括する役割があります。決算審査で明らかになった課題を予算編成に反映することで、次年度事業をより効果的に実施していくことができます。

今年度の決算特別委員会では、令和4年度に政策サイクルで取り組んだ住宅支援事業についても、「予算に反映されたか」「どのような効果があったか」をしっかりと確認しました。

調査・研究を継続

環境調和型農業推進事業について

協議していた有機農業だけでなく、後継者問題や集約化問題などについても知見を深めるため、今回は継続審査とし、今後も調査研究を継続し、理解と協議を深めてまいります。

(関連記事一面)

決算特別委員会委員長報告

9月5日の本会議にて決算特別委員会を設置

総務分科会

デジタル化の支援は

問 総務省の制度である地域活性化企業人として民間の職員が行っているICTに関する指導の現状は。

答 令和5年度の活動実績は、庁内のDX相談窓口や、小学生を対象としたドローン教室の企画、高齢者のスマホ教室等があり、令和6年度については、自治振興会での公式LINE作成など、自治会業務のデジタル化支援を実施している。

避難所運営の方針は

問 外国人防災リーダーの活動内容は。

答 災害時などの情報伝達や防災訓練では外国人市民への通訳も担っていたりしている。

問 将来的な広域避難所の運営方針は。

答 大規模災害時には、各避難者相互の避難所運営を行える手引書として、マニュアルを作成しており、すぐには難しいかもしれないが、住民が自主的に運営する必要があるという意識の醸成を図っていきたい。

他の質問

- ・地域自治振興事業について
- ・紫式部プロジェクト事業について

教育厚生分科会

就労支援の継続を

問 住宅確保支援給付費の内容と内訳は。

答 離職や廃業等の理由で住宅を失くした人、または、失くすおそれのある人を対象に、就労活動をする条件のもと、家賃の補助を行っており、令和5年度の支給実績は、7人で延べ19件だった。

問 就労につながった実績は。

答 週1回以上の面接などの就労活動、ハローワークでの月2回以上の職業相談を条件としており、ほとんどが就労に結び付いている。

市スポーツ協会との十分な意見交換のもと、スポーツ振興に関する役割分担を明確にせよ

問 市スポーツ協会へ委託している事業を、市スポーツ協会への運営支援事業の補助金として取り扱うことは可能か。

答 当補助金は、市スポーツ協会への運営支援であるため、委託事業とは性質が異なるものと考えている。

他の質問

- ・休日部活動の地域クラブ活動への移行について
- ・国民健康保険特別会計の事業勘定における実質収支額について

産業建設分科会

持続可能な農業のための後継者育成を

問 農業経営者の育成や、効率性だけでなく、きめ細やかに、付加価値の高い農業を目指すべきではないか。

答 後継者の問題については、市が伴走しながら経営者を育てていくことや、持続可能な農業について計画を立てて実践していくことが重要だと考えている。

また、地域の人が付加価値の高い農作物を積極的に購入し、地産地消の意識を高めることが農家を育むことになると考えている。

議会提案のあった住宅支援事業の成果は

問 政策サイクルの一環として、住宅支援事業の予算編成に対し、議会提案を行ったが、その対応と成果は。

答 新住宅取得推進事業補助金の対象区域を市全域に広めた結果、転入者が増加した。結婚新生活支援事業補助金は、国の要件緩和に合わせ、所得制限の見直しを行ったところ、申請数が増加した。

また空き家の現状把握は中心市街地で調査を実施した。市全域については、有効な調査方法を考えていきたい。

他の質問

- ・市営住宅の在り方について
- ・学生合宿促進について

各団体の現状や要望を聴く

政策サイクルでの提案に向け、テーマに関連する団体と語る会を開催し、意見交換を行う中で、事業の深掘りを進めました。

総務委員会 (8月29日実施)

越前市防災士の会では、防災研修会の開催、出前講座の講師、地域防災訓練への協力等を行っていると言明を受けました。

その後、地区や町内会での自主防災組織や防災士の会の現状について、意見交換を行いました。その中で、いつ発生するかわからない自然災害に備えて、自主防災組織と、知識と経験を持つ防災士の会とが、しっかり連携を深めていきたいとの方向性を確認することができました。



越前市防災士の会 (会場:越前市役所)

教育厚生委員会 (8月26日実施)

越前市スポーツ協会から、運営上の困りごとや取り組みたいことをお聴きし、自由な意見交換を行いました。

コロナ禍で止まっていた行事の盛り上げや近年の異常な暑さによる熱中症対策など、さまざまな工夫を凝らし活動していました。特に、若い世代の職員の新しいアイデアをスポーツ行政に生かしていきたいとの熱い思いが印象的でした。



越前市スポーツ協会 (会場:越前市役所)

産業建設委員会 (9月17日実施)

福井県丹南農林総合事務所、越前たけふ農業協同組合、福井県農業協同組合から、有機農業についての現状や今後について、説明を受けました。

その後、農業全般について意見交換を行いました。5年後、10年後の担い手をどう確保していくか、有機農業を拡大していくために何が必要かなど、さまざまな意見が交わされました。



越前たけふ農業協同組合、福井県農業協同組合、福井県丹南農林総合事務所 (会場:越前たけふ農業会館)

議会中継は
こしの都ネットワークや
インターネット・スマートフォン
でもご覧いただけます



こしの都ネットワーク
の場合

こしの都ネットワークで議会放送を見るときは、92チャンネルです。
議会放送中、091チャンネルは図のようになります。

【通常放送時】

地域ふれあいチャンネル
091ch

【議会放送時】

地域ふれあいチャンネル
091ch 議会放送
092ch 議会放送
(重なった場合)
093ch

議会放送を見るためには
リモコンのこのボタンで
092チャンネルに合わせ
てください。



インターネット・
スマートフォンの場合

本会議の録画映像は、いつでも、議員
ごとに、見ることができます。
議会中継をご覧になるときは、市の
ホームページから入って、次の手順で
アクセスしてください。

■越前市議会をクリック



■インターネット議会中継をクリック



12月定例会の日程

月 日	時 間	会 議 名	こしの都ネットワーク 再放送予定時間 (変更になる場合もあります)
11月27日(水)	午前10時	本会議(提案理由説明)	11月28日(木)午後6時
29日(金)	午前10時	本会議(質疑)	12月2日(月)午後6時
12月4日(水)	午前10時	本会議(代表質問)	12月5日(木)午後6時
6日(金)	午前10時	本会議(一般質問)	12月10日(火)午後6時
9日(月)	午前10時	本会議(一般質問)	12月11日(水)午後6時
10日(火)	午前10時	本会議(一般質問・予備日)	12月12日(木)午後6時
11日(水)	午前10時	教育厚生委員会	
12日(木)	午前10時	産業建設委員会	
13日(金)	午前10時	総務委員会	
16日(月)	午前10時	議会活性化特別委員会	
18日(水)	午後1時	議会運営委員会	
20日(金)	午後2時	本会議(委員会審査結果報告、質疑、討論、採決)	12月23日(月)午後6時

題字揮毫等の3校書道部を招待

正副議長と面談

議会だより第77号から題字の揮毫や本会議開催案内看板の作成に協力いただいている、市内高校書道部の皆さんを招待し、揮毫への思いをお伺いしました。高校生の皆さんは、「議会の厳格なイメージを思いながら書きました」「字体を崩してかつこよく見えるよう工夫しました」等と、はつらつと正副議長に語りました。

その後の議場見学では、議会の仕組みを学び、模擬採決(電子採決・挙手採決)を体験しました。

挙手採決では、「18歳になったら選挙の投票に行くか」を聞いたところ、全員が手を挙げました。



正副議長に揮毫で工夫した点を述べる高校生



議場で模擬採決を体験する高校生



高校生らと正副議長 議場にて

今号の 題字揮毫者から メッセージ



武生商工高校 3年
桂川 姫奈さん

桂川 姫奈

題字を書く話を聞いて、最初は不安でしたが何度も練習を重ね、納得のいく字に仕上がりました。字の太さやバランス、間隔などに気を付けました。この経験を生かしてこれから書道と向き合っています。

丹南地区市町議会議長会

広域での

観光推進を

丹南地区2市3町の議会で構成する丹南地区市町議会議長会では、丹南地区の興隆発展に関する諸問題について、協議や意見交換、研修を行っています。

10月25日に、福井県観光連盟観光地域づくりマネージャーの佐竹正範氏とTSDGの代表 新山直広氏を講師に迎え、「福井県観光の新たな潮流づくり」北陸新幹線開業による挑戦」をテーマに研修会を開催しました。

10/25 丹南地区市町議会議長会議員研修会



講師掛け合い



講師

友好都市 高山市

市議会議員が来越

議員懇談会の開催

友好都市である高山市の市議会と四年に一度、お互いの議会を訪問し、両市の抱えるさまざまな課題について、意見交換を行う議員懇談会を開催しています。コロナ禍により、5年ぶりに高山市議会が来越し、開催いたしました。

懇談会のテーマは「森づくりについて」で、両市議会議員が活発に意見交換を行い、両市の絆をより一層深めることができました。意見交換の成果を今後の議会活動に生かしてまいります。



10/30 議員懇談会(越前市役所第3委員会室)

問合先

市議会事務局

Tel (22) 3426